



第 28 号

発行所  
全国曹洞宗青年会  
〒105 東京都港区芝  
2-5-2 曹洞宗事務庁内  
編集発行 全国曹洞宗青年会  
TEL. 03-454-5411代

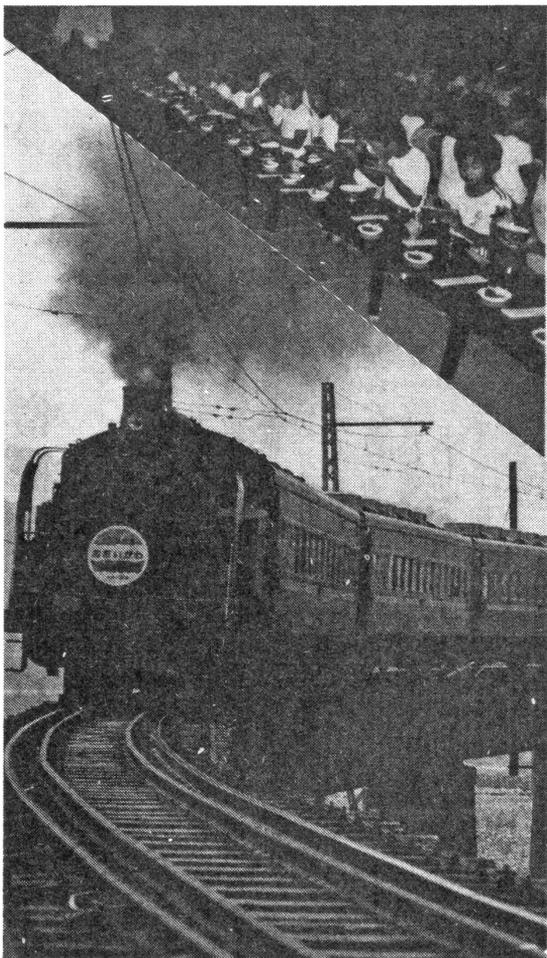
# 第四期をふりかえって

全曹青会長 桑 原 大 宗

總持寺を会場に禅文化学林が開催され日本の仏教文化の源流というべき「シルクロードと仏教文化」をテーマに内外の講師を依頼し内容に充実の研修であった。

紫雲台観下御垂示、申し分ない講師陣、会場環境に感激、内容の豊かさ、進退作法の厳肅さ、精進料理の美味、参加者全員再聴希望であった。第四回学林は最乗寺を

会場に青年援戒会、満衆の戒弟と全国から青年会員百余名の随喜と未だ戒弟の再安居希望者が多く、余韻を含ませている。それぞれに在家の心に仏種を植えつけたもの



と確心している。二年間の活動の中で青年会発足当初からのスタッフが勢揃いし活動展開に当り各委員会に於いて極めてスムーズであった。副会長三人制に於ける各分野の担当、規約改正に依る新執行部の選出を三ヶ月前に選考委員会に委嘱・内定を見た。

「自からの行履を求めて」のスローガンのもとに拡大実行委員会に依る今後の活動の在り方を検討、更に常任講師顧問団に依る適切な助言・指導応援があった。

曹青通信は発号が年間四回、廿五号を記念号としB五版にスタイル一新し保存版、読みやすさの工夫をみた。更に第四期の特筆すべき資料の中に青年宗僧の指導書として「仏教の生活ハンドブック」「禅文化学林開催の要項」の刊行を見た。仏教徒として最低これだけは知っておきたい仏教の知識・互に格好なるテキストである。

全国地方単位曹青へ呼びかけて協力のもと集体制の結果発刊をみた「曹青のあゆみ」並「続編」である。今日に至る青年会の歴史そのものが満載されている。

食生活キャンペーンを中心に今後新執行部のもとに激動の時代と社会の現実と将来を適正に位置づけ大同団結大いなる飛躍を希むたい。

## 破草鞋

マンタイキョー、漢字では万対協と書く。〇〇コ対策ではなく、〇〇ビキ対策であり、正しくは〇〇地区万引対策協議会。

あるスーパーの入口に「万引防止対策強調月間」と大書したポスターがあり、その下部に、〇〇地区青少年対策推進協議会、〇〇地区街振興対策協議会、〇〇地区万引防止対策協議会とあった。かくして「お客様は神様です」は表面だけ、中身は「お客様を見たら万引と思え」とばかり、店員やカメラの監視のもとに買物をする。

子供の万引を押えられて母親が私の子が悪いのではなく、気をとめるような陳列をした店が悪いと反対に切り掛り、返す刃で「こんなもの、お返しすればよろしいんじゃないですか」と、又、非行グループ入会の証として万引をし「おれは悪くない、こうしなければ仲間になれないんだ。こんなグループを見逃している学校や警察が悪いんだ」と。自民党の文教部会で、校内暴力対策委員会を設け、青少年非行について検討するそうである。けれど非行の第一歩、万引は減少するだろうか。病める社会のマンタイキョー。宗門も〇〇対策協議会を作りますか。

## 第5回禅文化学林

# シルクロードと佛教文化を語る

## 講師陣の熱演に聴衆魅了さる



# 僧俗一〇〇余名 大本山總持寺に集う

去る三月十一、十二日の両日に亘り、大本山總持寺を会場として、第五回禅文化学林が全国各地より僧俗百名を越える参加者を集め開催された。

午後一時打出し大祖堂に於て、後堂老師の導師により莊嚴な開講諷經が営なまれた後、紫雲台観下より「垂示を賜わり禅を学ぶ心構えとして」「マスコミに毒せられない禅の純粹なものを自己が自を探究してほしい」更に祖録の一節を引用し禅の真髓をお説きいただき感激一入、求道心をかりたてた。続いて天真閣に会場を移し講演に入った。

第一講は「シルクロードと仏教」総論と題し、東京国立博物館東洋考古室長で東西文化美術交流の歴史学者の第一人者杉山二郎先生に講演をお願いし、先生はシルクロードは長安からローマに至る、そのスケールはまことに壮大である。仏教に関係する方々はシルクロードを「仏教東漸の道」と考えていたと言ふことにはじまり、シルクロードに関わる国々の民族宗教、仏教美術、遊牧騎馬民族と農耕民族の特性、王朝文化の変遷、気候風土、食物、釈迦族のルーツ、仏教のルーツ、西方浄土を表わした敦煌のルーツ、オアシス都市の華麗な文化、仏教遺跡等全般に亘って該博な知識と実証性に富んだ熱弁をもって講演し参加者を魅了させた。

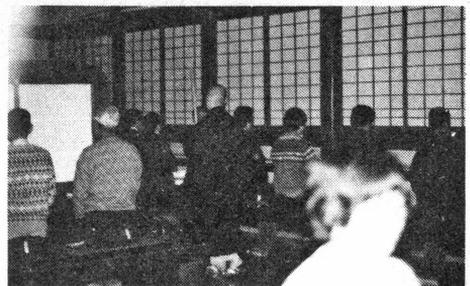
第二講は「シルクロードと音楽」と題し、東京芸術大学教授、民族音楽の権威者の小泉文夫先生に講演をお願いし、先生はシルクロードの国々に関わる諸民族の音楽構造を調査分析し、それを解明国々の音楽と楽器を説明しテープを通して演奏を聞かせていただき、往古の楽器が今日なお奏でられている

ことに深い感銘をうける共に、大自然の中にロマンと精神文化、音楽文化を築き上げに民族の魂がよみがえってきた。

最後に正倉院の御物にみられるようにシルクロードを通ってきた楽器が日本の音楽文化を築き精神文化を豊かにしてきたつながり話をされた。

第三講は「禪話、禪の心」と題し布教師界の泰斗佐藤俊明老師にお願いし、「禪とは何か」について蘊蓄を披露された。

翌日午前中は日程通り消化し、特に記すことは、対談「シルクロードの詩」であった、杉山、小泉両先生と司会の渡會正純先生の三者によって、深みのある対談で満喫した。



午後、大本山總持寺による声明の公演「歎仏会、略布薩」をする関係上、参加者に声明の歴史と魅力について長年研究をし造詣深い鶴見女子中高等学校教諭の渡會正純先生に講義をしていただいた後大祖堂に於て、単頭老師のご指導のもと「歎仏会、略布薩が嚴肅に修行された。

シルクロードを通り日本に入った佛教文化が日本の長い伝統と風土にマッチして、宗門儀礼が行じられている姿をまの当りに見、深い感動を与え、第五回禅文化学林は大成功裡に円成した。

研修委員長 岡部 康善



曹洞宗の声明について述べるならば、声明の本流とされる天台・真言のそれと対比して大いに異なるものがある。天台・真言の両宗においては声明の研究が教学の建前であるために、それなりに歴史的背景と伝承を持ち学問的にも既に相当の成果をおさめているのは周知のとおりである。それにくらべて、曹洞宗のそれは学問的研究においても概して見るべきものがないのが現状である。その理由として声明の内容から考察すると他の鎌倉新仏教がいずれも天台声明の影響の内て発生したのに対し、曹洞宗の場合は中国禅宗の伝統を直接受け継いだ関係から声明の内容も極めて禪的な語句・音階・リズムであり、伝承の上でもどちらかといえば少々疎外されて

いたからである。したがって歴史的背景も前述から考えてみても必ずしも厳密なものではなかったといえる。しかし江戸時代になって「規軌大乘」といわれる、加賀の大乗寺僧団によって声明が形成されてきたことは注目すべきことがらであり、今日伝承されている声明は大乗寺流の影響を強くうけているといえる。その大乗寺系の声明も文献的には極めて少なく、且つ分散しており、その蒐集と調査は早急には困難な状態が現状である。

## 曹洞宗の

## 声明について

### 渡 會 正 純

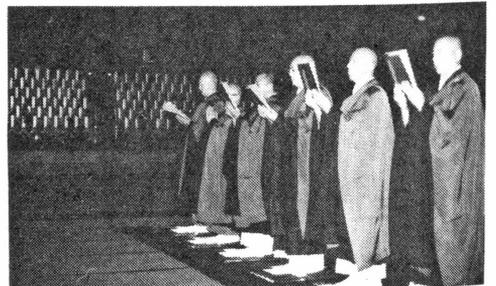
る。  
しかし書誌学的立場から曹洞宗において伝承されている声明を『新纂釋籍目録』などから表題の名を取り掲げると、次のような刊行あるいは、写本が伝えられている。

- 一、歎仏会法式
- 二、洞上唱礼法
- 三、「洞上」続唱礼法
- 四、洞宗仏祖礼
- 五、洞上大阿羅漢講式(巻尾羅漢式)

以上多少前後重複するもの、もしくは声明でないと思われるものがあるが、そのまま掲げた。最後に曹洞宗声明の特徴について、一、

- 六、羅漢供養式
- 七、羅漢講式
- 八、重観観音懺摩法
- 九、観音概法
- 十、大布薩式
- 十一、大布薩講式
- 十二、重正大布薩講式  
(巻首菩薩戒布薩式)
- 十三、洞上伝講式
- 十四、永平開祖道元禪師講式
- 十五、太祖仏慈講式
- 十六、観音講式
- 十七、観音講儀規

- 十八、永平開山忌行法華講式
- 十九、曹洞六講式
- 二十、昭和改訂声明軌範
- 二十一、東山布薩儀
- 二十二、布薩儀集儀
- 二十三、承陽大師和讃 傘松道詠集
- 二十四、梅花流詠讃歌
- 二十五、その他(略)



二の指摘をして終りとしたい。  
構成の上からみると、天台・真言の声明は単一、あるいは少種類の声明でできているのに対し、曹洞宗の声明は、単立しておらず、一、二の声明を組合わせたものでもなく、基幹となる数多くの「声明」が重ねられ、融通組合せでできている。  
また動作の上からみると、天台・真言の声明においては、焼香散華洒水等がある程度で、口唱諷誦のみで終始しているのに対し、曹洞宗の声明では、法式が半ばを占め焼香散華洒水はもちろん、礼拝を始め、多くの動作が声明の中に入っていることがあげられる。  
(鶴見女子高校教諭  
禅文化学林資料より)

—ご寺院の豊かな明日をクリエイトする—

**私達の仕事は** 寺院運営企画・建築・設計・営繕工事  
境内・墓地清掃保守管理施工  
寺院用品/焼却炉など環境用品販売

●あらゆる相談をお待ちしております!  
見積無料 ☎(364)0671~3  
法律・会計相談も行ってあります。

—日本寺院株式会社—  
〒160 東京都新宿区百人町1-13-2

# 全曹青に望む

全曹青は設立以来八年、爾来、事業部門、組織部門、研修部門、広報部門、総合企画委員会等速やかに整備され、各般に亘って夫々華々しい活動と実績を積み重ねられ、今や宗門の一大勢力となつてその効果を発揚されていることは、寔に慶賀に堪えないところである。然しその事業も余りに広汎に亘れば、浅くなるも当然であらう、故に年度により活動の方針を定めそれに全力を傾注されては如何。目下宗教者として、青年宗侶としてなさねばならぬ事は青少年の教化善導ではなからうか。

人類は平等に幸せを享受するのが当然であるが、毎日のようにテレビに、新聞に、青少年の非行、兇悪犯の多発、人命の軽視等が報ぜられているが、特に青少年の犯罪は最も悲しむべき現象であることは誰しも感じていることと思う。

戦後の混乱時代ならともかくとしても、あのいまわしい時から三十数年を経た今日、どうしてこんな悲しい現象が統発するのか。それには色々の社会的、家庭的原因があるであらうが、主として

教育の然らしむるところと思ふ。終戦以来の教育は放任的であり、又つめこみ主義のものであり、

## 青少年教化の善導をめざせ

伝道部長 伊藤豊饒



外面的、形式的、打算的な教育が現在の姿をもたらしっていると考えるを得ない。

元来教育は面つとか打算とかで成すべきものではないことは自明の理である。そんなことでは青少年が素直に育つ筈がない。

真の教育のためには、宗教、特に情操教育が欠かせないものである。理窟や打算を抜きにした、心と心のふれ合い、温かみが通じあうものでなくてはならぬ。無条件に融け合う、心の通るところに信頼と敬愛が生れる。信頼と敬愛がなくては教育とは言えない。

無著成恭先生も其の著「オツバ教育論」でわかり易く話しかけていられるように。

青少年と心をひらいて語り合い、心が融け合ふには、やはり近親感をもちうる年代の近い青年会の方々が最も適していると思う。

曹青も個人個人の集りである組織として、或は個々に日頃の精進と、たゆまざる研鑽を生かし、若き情熱をもって、夫々の地域社会に溶け込んで、次の世代を担う青少年の教育に尽瘁されんことを望んで止みません。



春は花 夏ほととぎす

秋は月 冬雪さえて ずすしかりけり

(朗読・声田伸介)

◎曹洞宗の開祖道元禪師が折にふれて、読まれた和歌のひとつ。

「本来ノ面目ヲ詠ズ」

と、題されており、読めば読むほど感ずるところあるものの……。

そもそも本来の面目とは、禪を指しての言葉の云いか？

いや、禪というものの、言葉などで云い表すことのできるものでなく、強いて手がかりを求めるならば、道元禪師の歩まれた足跡を改めて探りなおしてみるほか術なしという気がする……。

黛 敏郎 作曲

カンタータ「只管打坐」頒価 五〇〇〇円

お申込みは左記へ「ハガキにて」

港区二一五一一 曹洞宗宗務庁内

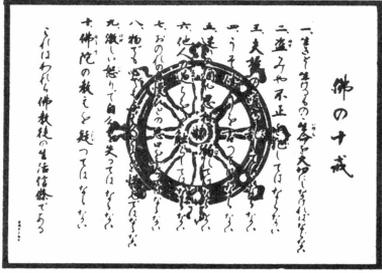
全国曹洞宗青年会宛

# 宗教の果たす役割

荒廃する教育現場には当に目をおおおうものがある。特に中学校という所謂、情操教育の岐点ともいべき教育の荒廃は何を示唆しているであろうか。教育が機械を製造す如き無機能的に行なわれた結果であろうか。

知識が知識としてのみ与えられた場合、殊に経験の乏しい若者に与えられた場合果して正しい行動として、消化できるものであろうか。成績至上主義、知識偏重教育という、教育の本質を見失った教育の在り方に大きな疑問を感じないわけにはいかない。

「宗教の自由の名のもとに」宗教が教育現場から削除され、軍国化



阻止のスローガンのもとに国歌・国旗掲揚まで禁止するやり方は果して本当の意味での宗教の自由の尊重なのか軍国化阻止の行動になるだろうか。画一偏見の弊害の方がむしろ大きかったと言わざるを得ない。正しい宗教を学ぶことは、真に知識を活かすことであり、正しい愛国心は、決して軍国化を推

## 宗教は

# 現代教育

### を救えるか……

進するものではない。教育がその

本質を伝えられず、極、大雑把な知識としてのみ伝えられた場合は、その害は、人間喪失という実に重大な結果を将来することになる。

人間がその人生をより豊かに大きく生きぬく為の最も重要な要素として、古来より「師・友・書」が言われている。「師」を得る人は幸であり、人生に指針を得ることができ、「友」を得る人は豊かであり、人生に潤いを得ることができ

きる。「書」を得る人は聡明であり、人生に明晰を得ることができ。教育の本質とは幸福であり、豊かさであり、明晰である。つまり、教育の本質は、師であり、友であり、書である。

師たる先生が生徒に罵倒され、殴られ、成績偏重の故にゆがんだライバルの友を失い、明晰たるはずの書が、重苦しい参考書でしかない現実、教育の荒廃などという生やさしいものではなく、むしろ教育の死を意味するのではな

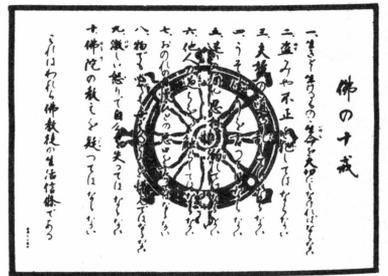
らうか。

教育の死が、単に宗教教育の欠落によるものであるなどと単絡的に言うわけではないが、生きる為の総合的な知識として綿密に集大成された宗教を無視することは間接的に教育の本質を無視することとつながるのではなからうか。宗教の本質は、人間賦活の法であり、

# 寺院の果たす役割

人間が人間として本来の生き方をする為の教え(真理)である。教育もまたかくの如きものでなければならぬ。政府及び教育関係者の無為無策の狼狽ぶりを見るにつけ、脚下を照視して、猛省さよといたい。人間の在存は、点であるが、その可能性は無限である。人間の存在を単なる点と見ることは、人間に対する最大の冒瀆であり、個性を画一視することは人間の本質を真向から否定することである。この様な観点から、今こそ教育の本質的ノウハウをもに宗教、寺院機能に大きく目を向けるべきであることを声を大にして提言するものである。

(寺院四季報より)



## 折疊焼香台



- 〈御用途〉
- 屋外供養
- 前卓など
- 本堂焼香
- 説教機
- 墓前供養

2台で1セット

- 使用時・高さ75cm X 開口60cm X 奥行40cm
- 収納時・高さ85cm X 幅60cm X 厚さ8cm

- Aタイプ 55,000円 (ハト返し有り)
- Bタイプ 50,000円 (ハト返しなし)

- 1台のみの場合は半額 ● 色は、黒色 溜色・朱色

■申し込み資料請求はハガキにてどうぞ。

株式会社 サヤック インターナショナル・ジャパン  
〒183 東京都府中市浅間町4-3 電話0423(69)2431

# 第13回九州地方集会

# 宮崎大会

## 松原泰道師を迎え



### 南国宮崎市において

### 六月十四・十五日に開催

第十三回を迎える、九州曹洞宗青年会集会は、昨年の鹿児島大会に引続き、左記の日程にて開催されることに決定した。

日時 六月十四・十五日  
会場 宮崎観光ホテル  
会費 金一〇、〇〇〇円

講師 松原泰道師

(臨濟宗妙心寺派前電源寺住職)

#### 大会日程

◎六月十四日  
13:30 受付  
14:00 開会式  
14:30 記念講演(松原泰道)

師  
16:00 総会  
17:30 記念写真・入浴  
18:30 レセプション  
◎六月十五日  
8:00 小食  
8:30 閉会式  
9:00 野外研修・解散  
◎大会事務局とお問い合わせ  
延岡市小川町 妙光寺内

### 第7回関東地方集会

### 茨城大会 土浦市で開催

第七回を迎える関東地方集会は再び茨城曹青が主管となり、今秋開催されるはこびとなった。特に今年は「緑蔭緑の集い」十周年を迎えるため、記念大会と併催する計画で日程は左記の通りである。

◎日時 十一月二十六・二十七日  
十二月二十二・二十六日  
◎会場 土浦市内、神竜寺  
亀城プラザ、デパート  
◎十一月二十六日  
関東地方集会(教養セミナー)  
歓迎レセプション

#### ◎十一月二十七日

10:00 記念式典  
10:45 講演 無着成恭氏  
12:30 中食  
13:30 人形劇  
◎十二月二十二・二十六日  
名僧墨蹟展(チャリテー)  
尚 地方集会等詳細決定次第二案内致します。  
事務局 土浦市文京町一―二七 神竜寺内

青年宗侶のエネルギーを結集しよう

### 第7回東海大会

### 香積寺風外展と講演

～11月15日～

第七回東海大会は愛知第二曹青主管にて、本年十一月十五日開催されることに決定した。

「たゞ風外」で知られる風外本高和尚が足助の香積寺に入山され、この東海の地に法筵を宣べられてから、昭和五十八年で一五〇年になります。

この機会に左記により記念大会を計画しております。

日時 昭和58年11月15日  
会場 風外展：香積寺(足助町)  
講演 愛知学院大(予定)  
講師 田中忠雄氏

#### 記念事業

◎風外和尚真蹟のカレンダー作成  
◎風外和尚真蹟の作品写真集作成  
※詳細については後日お知らせ致します。

事務局 豊橋市大手町二〇〇 西光寺内

# 提言

現在の教団がこれだけの努力を  
していないが、人々に希望を与え  
ないのはどこに原因があるだろう  
か。

その一つは、もろもろの活動や  
潜在的な能力が、総合されたり、  
関連づけられなかったりしないため  
に大きな力になり得ていない、と  
いうことであろうと思ふ。

総合性ということを反省してみ  
ると、たとえば社会の領域で考え  
ると、医療現場、政治の場、経済  
の場、教育の場、思想の場、科学  
技術の場、社会教育の場などをな  
らべてみて、宗教々団や信仰者や  
思想家等が入りこみ、あるいは開  
発されて横に連携しているかとい  
うと、穴のあいた領域がずい分か  
ることがわかる。

信仰を形成するものとみると、  
宗教情操、宗教に関する基礎的知  
識、宗教的文化、行や倫理、信心  
などが有機的に機能するように作  
戦ができていないかと、反省して  
みると、いずれも中途半端でしか  
横に移行できる道すじができてい  
ない。

## 社会的価値ある活動をしよう

活動面でも、各活動や、組  
織が横に移行できるようにになっ  
ているかという点、坐禅会員が檀徒  
化してゆくための具体的問題は少  
しも解決しないまま、併行して行  
われている。そして、会員が坐禅  
を離れてゆくことに対して、全く  
無頓着である。

こうした横の連携をうちたてる  
のは具体的な事例によって研究し  
よう。

### 教化の活動と内容を

### マルチ化しよう

教化研修所 中野 東 禅

解答を出してゆくと自然に道がで  
きるはずである。

たとえば、A宗のB寺の檀家が  
坐禅会員で、曹洞宗の授戒につい  
て安名をうけたが、自己の死後の  
まつりは菩提寺のA宗B寺でした  
ものかどうか迷っている。という  
ようなことにはつきりとした態度  
を論理として確立し、宗団として  
の見解をうち出して、これを教化

現場の作戦要務令としてゆく、と  
いう努力が必要である。

こうした、宗教文化や、宗教知  
識を正確に与えることによって、  
よりたしかな信心を形成するとい  
うマルチ的発想による教育教化の  
方法を実験したのが「禅文化学林」  
であった。その中でも宗教知識、  
宗教情報をマルチ化しようと実験  
したのが「仏教の生活ハンドブック」

クであった。

マルチ伝道というのは、さまざま  
な接触の場が、それぞれバラバ  
ラに別の情報やテーマで活動する  
のではなく、一貫したテーマや情  
報でつながっていて、それらが総  
合的に一つの構築物になってゆく  
という作戦意図をもった伝道のこ  
とである。  
たとえば、総授戒運動というと

きには、開法―坐禅―受戒―戒名  
―倫理―受戒で成仏するといいう  
るかどうかの思想的検討―教団所  
属システム―礼拝などなどすべて  
を総合的に関連づける一大作戦を  
伴わねばならないであろう。

あるいは禅のつどいをすすめる  
立場からみたら、幼稚園・保育園・  
日校・小中学校の教育現場におけ  
る静座法の作製、それに対する思  
想的うらづけ、副読本の作製、青  
年向けには、禅と仏教を支える周  
辺文化の読本の発行、壮年老年向  
けには禅の知識や、関法シリーズ  
作成、女性向けには、結婚観、人  
生観家庭教育などについての禅の  
つどいの人生観シリーズの発行な  
どを総合的に行い、外壕を一つず  
つ穴うめてゆくことが必要であ  
ろう。

こうした総合性と、相关性に  
よって一つの束になってゆく作戦  
を提案したいと思うのである。

(全曹青常任講師)



## 寺院専門の書道用具店

その他中国美術工芸品



当店には塔婆専用開発した非常に木  
に強い毛切れのしない筆があります。

静岡市新川2-9-31 TEL.0542-81-8005

タイ・カンボジア教育支援プロジェクト

# 僧俗一体の運動を展開

## 山口県曹洞宗青年会



現地へボランティア派遣

― 実技指導を行う!!

二月七日11トトラック二台で門司へ回送。通函・二月十二日神戸港よりバンコックへ向けて出港。その間にボランティア出発の準備と講習会を行う。三月三日、県曹青副会長村上徹山師を団長に九名がバンコックへ向けて出発。現地ではタイ政府当局と接渉しながら、現地滞ボランティアの方々の案内で北部農村小学校・難民キャンプ等へ出向き、すでに三日前に到着の教育資材の贈呈式を行い、騰写版の講習会・レクレーション指導を行った。過密スケジュールの中で現地の子供等や学校では大へんな期待があり歓迎された。出発以来十日間の日程を無事終え、三月十一日帰国三月末現在、詳細な報告書のとりまとめと整理を行っている最中である。特に派遣団員の印象として、『我々日本人はタイ、カンボジアをはじめ、東南アジア諸国についてあまりにも知らなすぎることを痛感した』と力説していた。



### 新しい青年会

#### 運動のめばえ

今日まで難民救援活動はあったが、ともすると募金して金を送るということだけ、あるいは一部の坊さんだけ、あるいは難民キャンプへ物を持って行って配って帰る。そうすることで私たちは充分事が足りると考えたり、自己満足のサンタクロースのような気分になった人もいたと聞いている。しかし、今回山口曹青で展開した運動は遠い海の向うの問題としてではなく、我々の問題としてとらえなおしたところに意味ある。そして地域の子供さら大人までが難民や極貧のタイ農村への教育支援を通して、自分たちが忘れてい

た教育本来のものへ目覚めるきっかけをつくったことと考える。特に手作りの教育の見なおしであり、騰写版や楽器等すべて手で表現できるもの、今ひとつは物を生かすことの大切さである。またこの教育支援活動を通じて学校や一般家庭で実践教育の現場が生まれたことである。ひいては難民や社会の弱者への目が向けられるきっかけとなり、平和な国の大切さと人間らしく生きることの大切さを知るきっかけができたことと思う。

特に、今日各地で青年会活動に実践面がなく研修会や講演会ばかりになって来ている折、新しい青年会活動のあり方を問うことにもなるかと思う。



梅花講指定店



株式会社

# 安藤

東京店 東京都港区虎ノ門3丁目10番1号 (☎105)

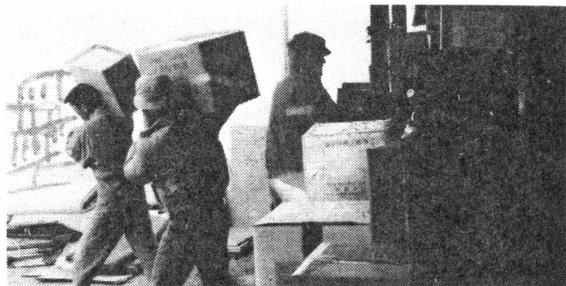
電話 (03)431-0428

本社 京都市東山区古門前通花見小路東入 (☎605)

{ 法衣部 電話(075)541-8161(代)  
仏具部 電話(075)541-8165(代)

福岡店 福岡市博多区上呉服町12-7 (☎812)

電話(092)291-2143(代)



## 教育支援

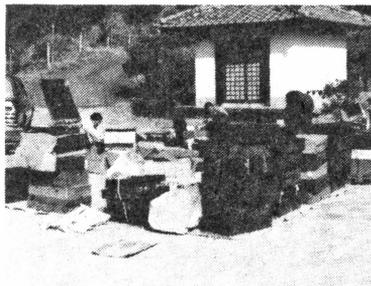
### プロジェクト誕生

現代社会の要求に答えるべく、五十七年山口曹青総会でボランティア予算を組み、昨秋理事会で教育支援活動が了承され、ただちに募金活動を含めて準備委員会、実行委員会が設立されいよいよスタートした。

緊急事業として現在活動中の曹洞宗ボランティア会が昨夏現地で実験した謄写版運動を山口県内で拡大し、運動させることを考えた。ただ謄写版を集めてタイや難民キャンプへ送るだけでは大きな成果は期待できないであろう。

そこで綿密な計画を立て検討を重ねて実行範囲を寺の外へ向け県下全域に拡大した。特に一般への主旨徹底、予算計画、回収品目と方法・組織と対応策・マスコミヤその他のPR作戦が十五項目にわたって具体的に検討され、ただちに行動に移った。ことに学校教育関係の反応は新鮮であり、中でも児童生徒の反応はこの運動の目玉となった。山口県下の萩・下関・防府・徳山・新南陽・宇部・岩国の都市部と、大島・熊毛・阿武といった郡部が共に対応してくれたことだ。それぞれの地域における青年会

員が趣意書をもって足で歩き、教育委員会や、学校関係や各種社会教育団体の賛同を得て大量の教育物資が提供され、宗派をこえた支援の手がさしのべられてきた。



## 寺域を越えて

### 支援協力

次にわずか一ヶ月間で回収された品目と数量をあげてみると、

- 謄写版一六〇台、手動輪転機三七台、足踏オルガン七六台、アコーデオン十四台、ハーモニカ二千本、木琴四百台、リコーダー・ピアノ二千本、鉛筆七万本、消しゴム二千、ノート五千冊、クレヨン二百kg、スポーツ用品一千点、その他学用品・教材二万点

梱包数計四三四個（十一トン）  
協力児童数三万人・協力校中小高約二五〇校・協力寺院一五

○ヶ寺労力奉仕者延三百名以上となっている。その他、幼稚園・PTA・婦人会等の協力と奉仕があったことも力づけとなっている。

次に回収された教材の仕分け、点検・補修、箱詰・梱包・搬出といった作業が十日間会員や奉仕の方々によって行なわれた。

また、謄写版の修理・オルガンの調律・ミシンの点検・梱包等プロ並みの作業を青年会員がそれぞれの能力を発揮したり、わざわざ研修に行つて役立てたりした。あらためて人間本気になれば何でも出来ることを痛感した。

## 緊急事態の

### 応援を乞う

四月十日現在、国連を通じて日本や曹洞宗ボランティア会に緊急な援助の要請がされている。

タイ国境で再度大量難民が生じ、おさない子供等が死線をさまよっていることだ。特におさない子供達に食糧と衣服の援助を急がなければならぬ。でないと子供たちは信じられないことだ。うえて、こゝろ死にすることです。山口曹青でも目下、次の活動へ向かおうとしています。各曹青におかれても何らかの支援活動をされるよう願つてやまない。

梅花流法具販売指定店

(株) 橋本佛壇・家具センター

福井県敦賀市相生町3-16

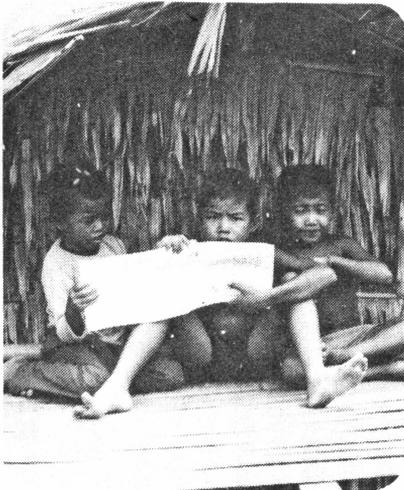
TEL 07702・2・0945



両大本山御用達 曹洞宗専門  
株式会社 谷口法衣佛具店  
京都市下京区高辻通船場町東入千600  
電話 京都075(519)741  
取引銀行 三和銀行五条支店 4-1406  
振替 京都 15437番

# 限りなき 救援活動

曹洞宗ボランティア会



JSRCの指導により、難民自身の手で作った本  
を読む子供達 1981年

南国の空は青く澄んで、千切れ雲が二つ三つ浮かんでいる。ニッパ椰子と竹で作られた小屋の群並ぶカオイダン難民ホールディングセンターの昼下りは一日中一番静かな平和な時である。ここには常

難民と一緒に四十度を越える暑さの中で黙々とインキに塗れて謄写輪転機を回し、クメール語の教科書や参考書を作りあげる過程の中から、ボランティア諸兄と難民との間に救済する側とされる側という関係を超えた人間らしい絆が生まれていった。難民自らが本を

に五、六万は下らない難民が収容されている。夜になると時折、大砲の音が国境の彼方から聞こえてきて、難民達の脳裡を辛い恐しい思い出が過ぎるのである。  
昭和五十五年正月に発足した曹洞宗東南アジア難民救済会議（JSRC）は、難民の心に灯りを点そうとして活動して来た。今日迄JSRCのボランティアは延二百人を越え、彼等の献身的な努力と忍耐によって、難民救済活動は次第に軌道に乗り活発になってい

た。

作ろうとし、更に自国語教育、伝統文化の保存、宗教活動を起こし始め、ボランティアはこれに力を貸した。仏教徒という両者の宗教的共通基盤が、何にもまして活動全体をささえてきた。  
現地の国連やユニセフ、タイ人カンボジヤ人からも「ソートーシュー」と信頼の念をもって呼ばれ、地道な活動が評価され認められる様になった。  
そんな矢先、曹洞宗東南アジア難民救済会議は解散した。しかし、JSRCの活動を止める事は出来な

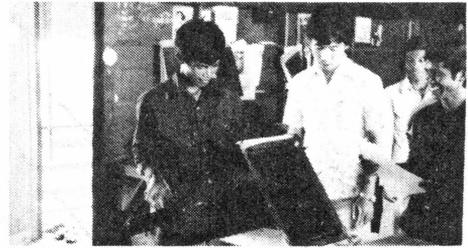
なかった。  
曹洞宗ボランティア会は昭和五十七年六月よりJSRC全ての活動を継承した。  
最近、特に脚光をあびているものに謄写板プロジェクトがある。使われなくなった国内での謄写板を資源再利用をかね、寄附を受け修理をほどこし、タイ国内への教育支援の一つとして贈ることである。タイの教育事情は日本と較べられない程貧しく、農村地帯は特にひどい。小学校の義務教育が終わると村人は文字に触れる機会がなくなり、やがては文盲化してしま

う。これを防ごうとする、タイ政府の成人への「識字教育」の主旨に沿うものでもある。  
これまで、各地の曹青支部や駒大ボランティア会等の参加により

第四回まで謄写板プロジェクトチームが派遣された。各チームは現地常駐のボランティアの案内により、その配布と技術指導を行い成果を上げた。まだ、行っていない地方からは早く来て欲しいとの要請がしきりであり、ユニセフ当局もこの活動には積極的に応援してくれている。  
同時に学用品（ノート、鉛筆、クレヨン、楽器）足踏みマシン等集め送っている。  
これらの活動には、寄付者の善意を最大限に生かさねばならない。従来この様な物資援助は「贈る、寄付する」という行為のみで終ってしまった。これでは善意が生きないし、逆効果をもたらす。国際社会において、日本が最大額の救援をしていながら批判されて

いる原因もここから来る。そのため現地の実状を把握し、諸官庁への手続きをする現地事務所の働きが必要であり重要である。  
現地事務所には現在、常駐者が二人しか居ない。成田、八木沢君である。彼等は宗侶ではないが、宗侶以上に曹洞宗を大切にし、誇りに思っ

て活動している。十名のタイ人、百五十名近い難民を指導して、日本人の善意を伝えるべく、東奔西走している。彼等を助ける人材が欲しいし、安心して動ける資金的バックアップが欲しい。これら現地の活動を支えて行く為には曹洞宗ボランティア会の充実が緊急且つ最重要の課題である。  
曹洞宗ボランティア会活動の目的は国の内外を問わず人間と人間との間に信頼の絆を作ることであり、利人貧者を選ばない、一個半個の教化に他ならない。  
辛い曹洞宗ボランティア会の支部が東北曹青の中に単単位で、又山口、静岡で出来つつある。個人単位でも参加は出来る。全国の若い宗侶を共に小さくても真心のこもった愛の手を世界の困っている人達に差し伸べよう。  
**曹洞宗ボランティア会**  
東京都品川区  
東五反田二ノ三ノ一〇  
レジレント五反田五〇五号  
電話〇三三四四一四六一五



カオイダンキャンプ内で謄写板指導するボランティア 1982年

第五回中四国曹青大会が二月廿六・廿七日両日倉敷市玉島の良寛荘で開催された。参加者は七十名の申し込みとなり、良寛さまの修行の地円通寺の拝登をいたし、山内を一同で見学しました。

なぜなら兼職宗侶が多くをしめるこの地域にとって、自らの主管による中四曹青大会がもたれた意味は大きい。大会テーマである「大衆教化の接点を求めて」を常日頃実践し、相互に研修しているからである。体験を語り合いながら、さらに時代的対応を模索することが可能であった。特に遠路おこし下さった駒大教授であり宗教民族学の権威である



第5回中四国大会  
民族宗教を教化に生かせ

佐々木宏幹先生の御講演は新鮮かつ教化意欲をかきたてるものであった。会場は熱気にあふれ、満堂となり席を立つ余猶さえなく、我々青年宗侶の琴線をゆさぶらずにはおこななかった。今日宗侶が求める「ねらいと方法論」についての指針は興味をより深めた。特に「宗門に欠けているものとして、地域なり社会のアプローチに何をもちて応えるのか。また坊さんには、人生の節目節目に何をすべきかがない……。そして宗教家は力を持たなければならぬ。目に見えない力を駆使する力を

「地域信行の開発を急げ」

……」ど、そして『宗門ではたてまあと大衆の求めているものがあまりにも離れすぎている。もつと民族仏教を……寺々の活性化を』と力説された。

次に第二日目は、三浦秀宥先生によって岡山県を中心に中国地方の民族宗教や葬送儀礼の事例をあげての方法やあり方の講演をいただいた。先生方の講演の後、参加者が一堂に会し、地方寺院・地方曹青のあり方が熱心に討議された。それに対し佐々木先生、三浦先生からのアドバイスをいただいた。



この第五回岡山大会を期に、各曹青においてそれぞれの地域の民族宗教を研究し、宗門の教えをどう広めるかを考えよう。より一層の会の交流と親睦をはかろうとちかい合った。合わせて第六回大会を鳥取県曹青主管で開催することをちかい、四国管内曹青の再結集と結束の向上をはかることを今大会の成果とした。最後に各先生方、各宗務所の方々、老宗師各位の多大なる賛助に対し厚く御礼申し上げます。 実行委員長 土本祥善九拜

注文仏像・紫檀製仏具・大木魚・大鑿子

株式会社 宗像商会

本社 東京都東村山市富士見町3-2-17  
〒189 0423 (95) 8 5 0 5  
盛岡営業所 盛岡市中橋通り2-4-16  
〒020 0196 (54) 2 9 1 6

— 特価ご案内 —  
“雲中供養菩薩像13体一組”

- 1. 150万円
- 2. 紅檜材—2寸度  
ノーパーパー仕上
- 1) 一体12万円×13体 =156万円
- 2) 単体注文の場合 1体15万円
- 3. 大きさ 1.5尺~2.0尺
- 4. 安置方法
- 1) 壁掛式 2) 置物
- 3) 欄間組込み

どうぞお気軽にカタログをご請求下さい。

# 事務局だより

◎昭和58年度総会について

すでに会員各位にご案内の通り  
来る、五月十三日左記により開催  
されます。第五期目に向い青年  
宗侶のエネルギーを結集し発展さ  
せるべく、各位の参加をおまちし  
ております。

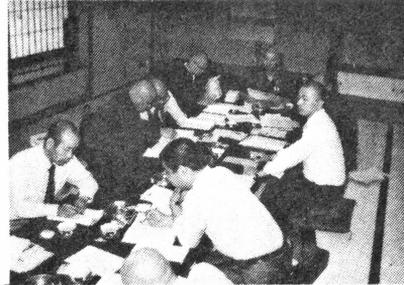
日時 5月12日事務局会、監査会  
理事会、評議員会

5月13日十時総会

◎前期禅の集い中央研修会

5月13日午後1～4時

詳細は——ご案内の通り



## 事務局日誌

◎2月8日 事務局会、理事会  
評議員会

◎2月9日 第一期選考委員会

◎2月9日 後期中央禅の集い研  
修会

◎2月15日 曹青通信第27号発行

◎2月15日 続曹青のあゆみ発刊

◎2月25日 事務局会

◎2月25日 研修委員会

◎2月26日 広報委員会

◎2月26日 全日仏青東京結集

◎3月10日 事務局会

◎3月11日 研修委員会

◎3月11日 第二期選考委員会

◎3月11日 第5回禅文化学林

◎4月5日 広報委員会

◎4月18日 事務局会

◎4月18日 研修委員会

◎5月11日 広報委員会

◎5月11日 事務局会

◎5月12日 理事会評議員会

◎5月13日 総会

# 地域における活動の連携を深めよう

設立以来第五期目を迎えること  
になりました。  
さて、全曹青会費本年度もよろ  
しくお願い致します。  
同封振替用紙にてご送金下さい。  
正会員年額金一〇〇〇円、賛助  
会員は一口一〇〇〇円です。  
地区単位曹青にてまとめて納入  
のときは、納入会員名を書き添え  
てお願いします。  
又、事務局台帳の充実を期する  
ため、振替用紙裏面が、ハガキ等  
にて、生年月日、住所、寺名、地  
区曹青役職等なるべく詳しく書  
き添えて、事務局宛にお送り下さい。



### 会費納入のお願い

### ▼後記▲

### 前期禅の集い 中央研修会

◎5月13日PM 1:00～4:00  
宗務庁研修道場

『現代の食生活の見直し』

PART I

(子供の食卓)  
このままでいいのか!!

講師 NHK 製作担当デレクター  
内林達夫編集長 他

『食』教化映画上映

## 佛教の生活 ハンドブック

- 1冊500円(送料200円)
- 50部以上 1割引
- 100部以上 1割5分割引
- 送料は宗務庁頒価送料

前編 修証義にもとずいて

第1章 自己の章	第2章 仏に照らされる章
第3章 出合の章と決意の章	第4章 共通のいのちを共に生きる章
第5章 安心と感謝の章	

後編 清らかな生活文化

第1章 行持	第2章 大衆一如	第3章 対大已	第4章 礼拝儀則
--------	----------	---------	----------

申込先〒105 東京都港区芝2-5-2 曹洞宗宗務庁内  
全国曹洞宗青年会宛